



Sumitomo Corporation

Enriching lives and the world

NEC

カーボンクレジット創出トライアルのご説明

2023年8月24日

株式会社佐久

住友商事株式会社

日本電気株式会社

カーボンクレジット創出トライアループロジェクト概要

株式会社佐久の管理する森林において、国際的な認証機関に対し「カーボンクレジット」を申請する試験的プロジェクトを株式会社佐久, 住友商事株式会社, 日本電気株式会社の3社共同にて実施します

実施内容

- 国際的なクレジット発行機関 (Verra社) に対し, カーボンクレジットを申請する
- 伴い, 対象森林で予定していた主伐をプロジェクト期間に渡り中止して森林保護活動を(間伐を含む)を実施する(伐採林から保護林への転換)

対象の森林

- 梨の木山(スギ林), 約2.5ha (所有者: 佐藤久一郎様, 佐藤太一様)

プロジェクト遂行者

- 株式会社佐久, 住友商事株式会社, 日本電気株式会社の3社

プロジェクト期間

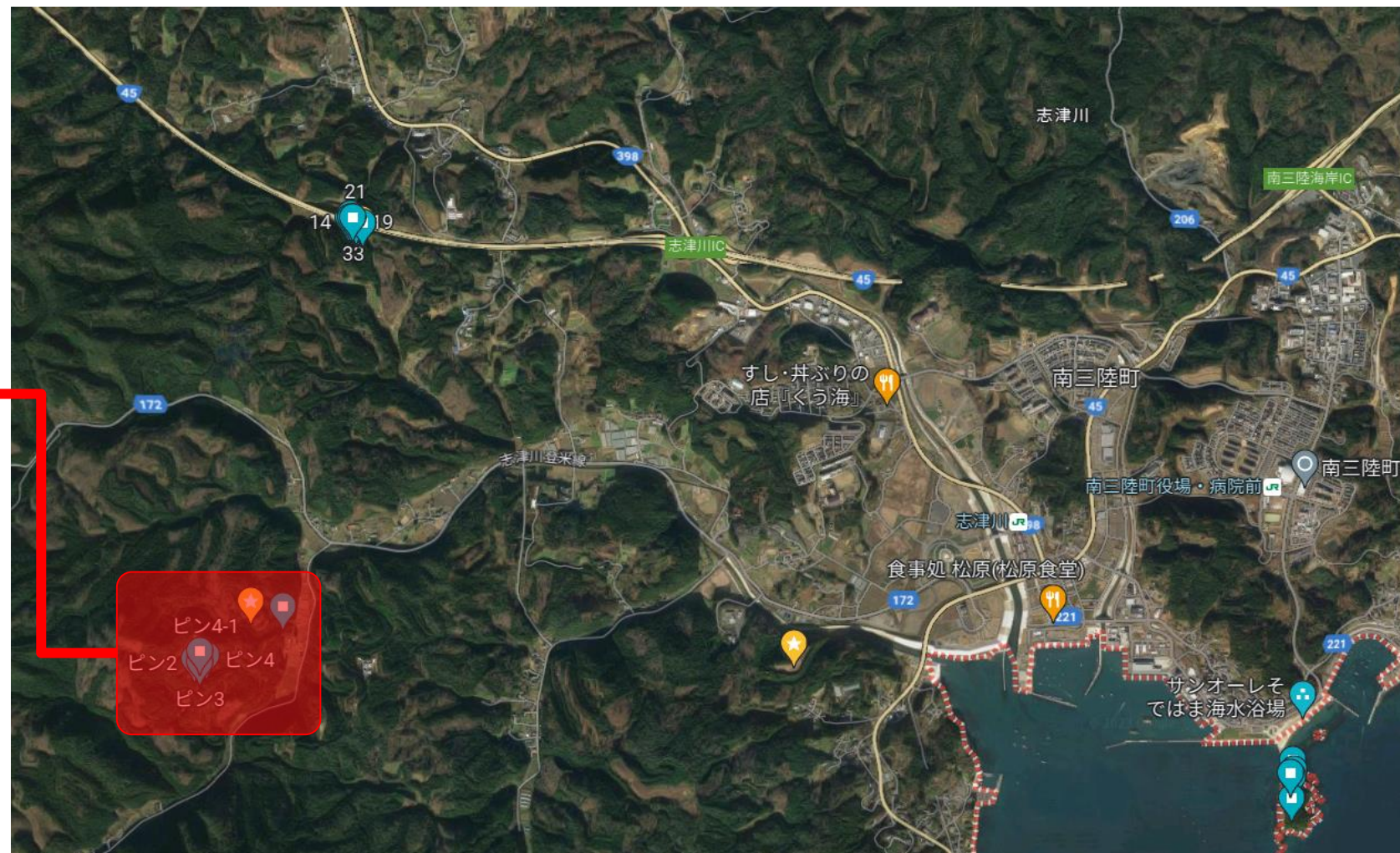
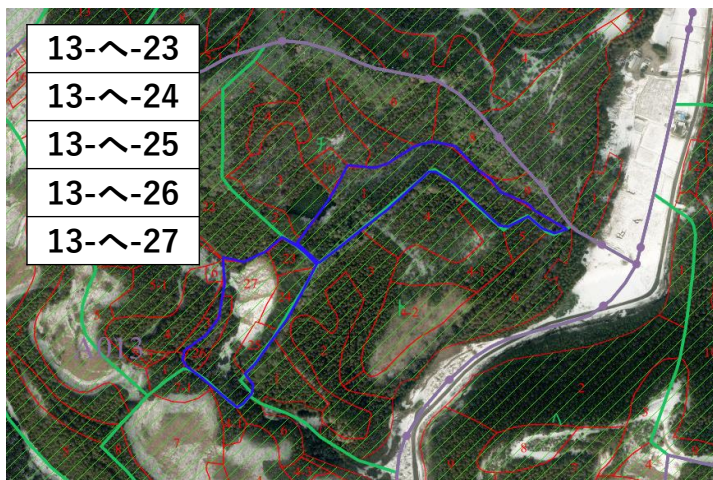
- 2023年10月(予定)から20年間

実施の目的

- 将来のクレジット普及に向けた, 申請プロセスの学習(実験的位置づけ)

(参考) 対象森林の地図

梨の木山(スギ林), 約2.5ha (所有者: 佐藤久一郎様, 佐藤太一様)



カーボンクレジットとは？

排出量削減の潜在的な能力を保有する産業がそれ以外の産業より、CO2削減PJを実行するための投資資金を調達するための仕組み。クレジットはその投資からのリターン



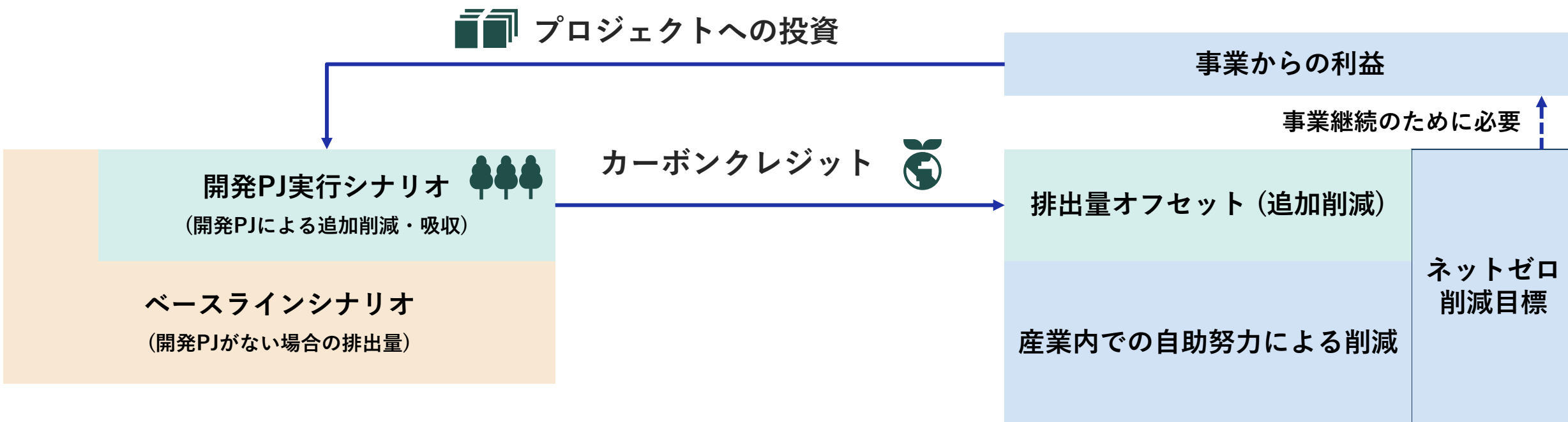
排出量削減の潜在的な能力がある産業
(例 林業)

- 削減PJを単独ではファイナンスできない



CO2削減を必要とする産業
(例 自動車, 鉄鋼, 石油・ガス)

- ネットゼロ目標を単独では達成できない



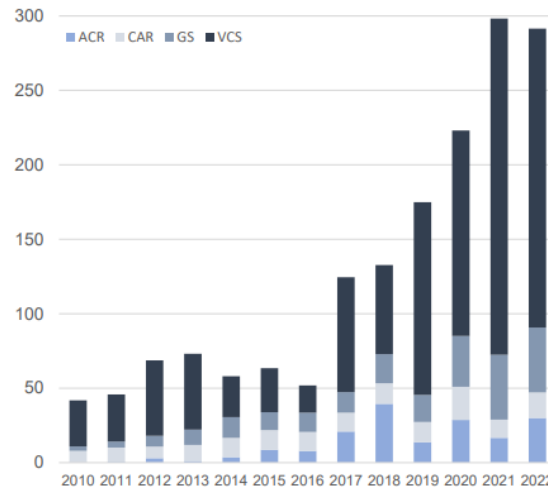
カーボンクレジットの種類別

規制上の制約が少なく使い勝手が良いことから、ボランタリークレジットの重要性が増している

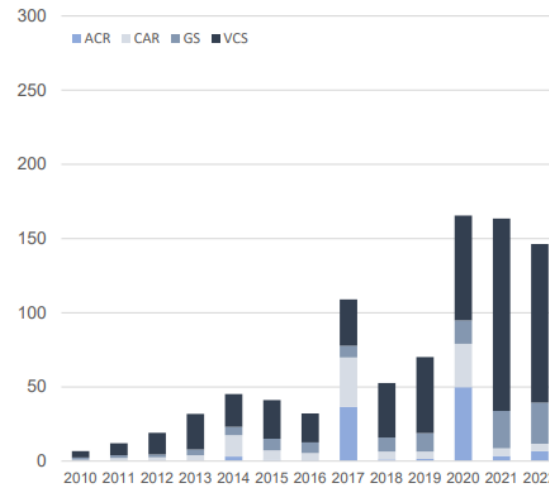
		利用目的	例
規制	コンプライアンスクレジット	<ul style="list-style-type: none"> 規制上の要件を満たすために企業間で排出量枠を取引する仕組み 	東京都 キャップ&トレード EU-ETS
自主的	ボランタリークレジット	政府・公的機関	Jクレジット (日本) ACCUs (豪州)
		民間 (企業・NPO)	<u>Verra VCS</u> Gold Standard

ボランタリークレジット流通量推移 (2010-2022)

VCS/GS/ACR/CAR発行量推移 (Mt-CO2e)



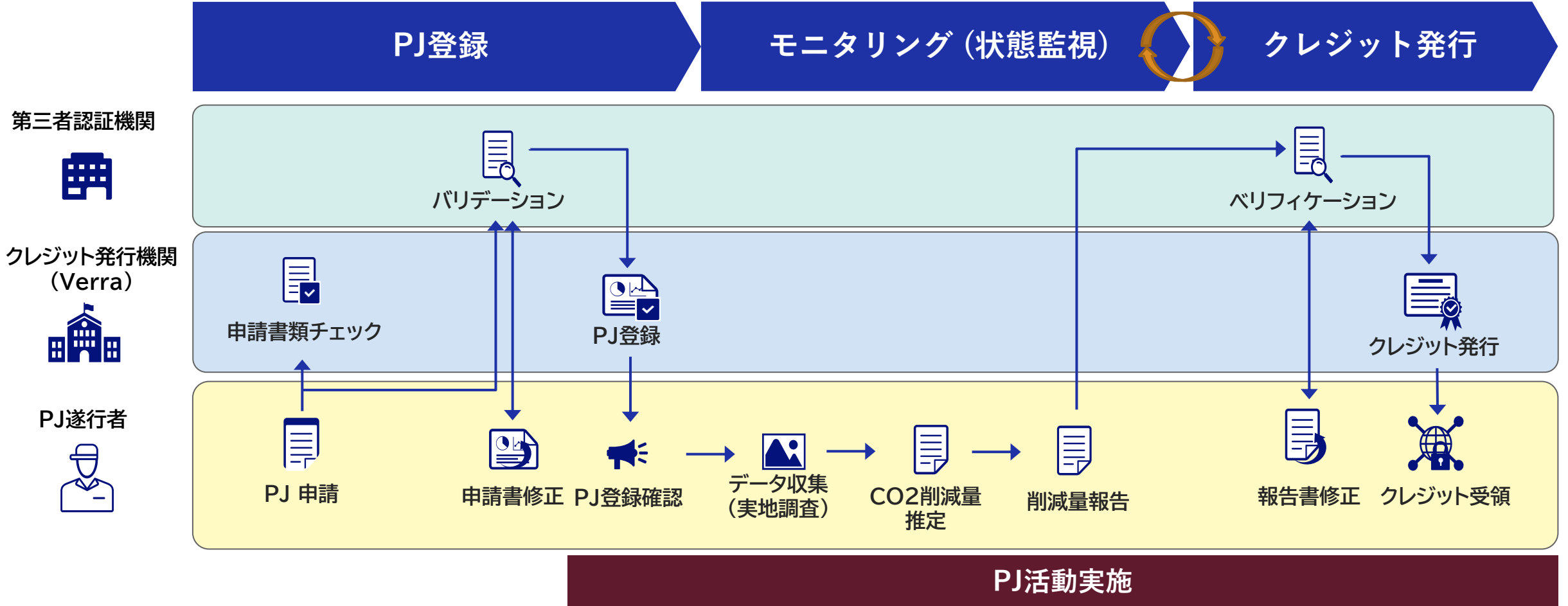
VCS/GS/ACR/CAR使用量推移 (Mt-CO2e)



VCS: Verified Carbon Standard
GS: Gold Standard
ACR: American Carbon Registry
CAR: Climate Action Reserve

申請の流れ

プロジェクト活動により発生する追加的なCO2削減の正確性および永続性を、専門的に認められた評価基準に則って、クレジット発行機関と第三者認証機関が評価することで信頼性を担保する



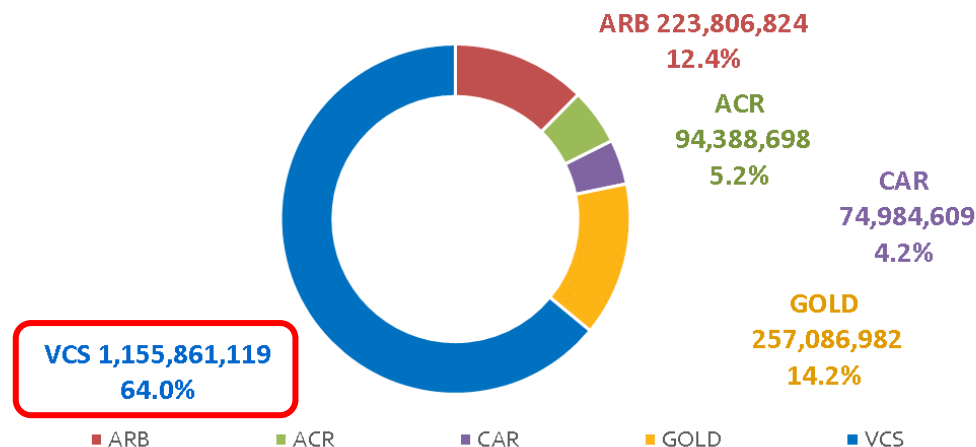
Verra社概要

グローバルに展開, かつ最もメジャーなボランタリークレジット発行機関としてVerraを選定

- 気候変動対策と持続可能な開発に関して世界をリードする, 国際標準を制定する米国のNPO
- 森林保護を通じたCO2削減に加え, より良い農業, プラスチック廃棄物の削減, 男女平等の幅広い持続可能性テーマにおける認証プログラムを提供
- 今回申請を行う, VCS(Verified Carbon Standard)と呼ばれるカーボンクレジットの認証プログラムはそのひとつ

<https://verra.org/programs/verified-carbon-standard/>

民間認証クレジットの累積発行量 (1996-2023.5)






VCS: Verified Carbon Standard (Verra)
GOLD: Gold Standard
ACR: American Carbon Registry
CAR: Climate Action Reserve
ARB: Air Resources Board (California)

出典 Voluntary Registry Offsets Database v8 <https://gspp.berkeley.edu/research-and-impact/centers/cepp/projects/berkeley-carbon-trading-project/offsets-database>

プロジェクト活動内容

主伐の中止に伴うCO2吸収量削減に加え、生態系能力強化、教育機会の提供の観点から幅広くプロジェクト界隈における持続可能性の向上に貢献する

	内容	関連するSDGs項目
CO2吸収量の増加 (主伐の中止)	<ul style="list-style-type: none">主伐をPJ期間に渡り中止（間伐は実施）[伐採林から保護林への転換; VCS方法論 VM0010]定期的な材積量調査（サンプルプロット調査）の実施	 13. 気候変動に具体的な対策を
生態系能力の強化	<ul style="list-style-type: none">山地生態系の能力を強化するために、生物多様性を含む山地生態系の保全を実施定期的に生態系を豊かにする下部植生の品種・個体種とその数を調査（FSC植生調査と連動）	 15. 陸の豊かさを守ろう
教育機会の提供	<ul style="list-style-type: none">森林を活用した持続可能な環境教育に森林を活用するための日当たり・安全性等の環境整備環境教育の実践	 4. 質の高い教育をみんなに
プロジェクト永続性のため の各種パトロール	<ul style="list-style-type: none">土砂崩れ、火災、違法伐採等の継続的なCO2吸収を妨げる要因の早期発見と対策	-

関係者へのインパクト

クレジット申請の審査へのご協力の可能性

- クレジット申請の監査にあたり、第三者認証機関より、林業の現行の状況等について関係者への質問(原則文章ベース)が発生する可能性があります

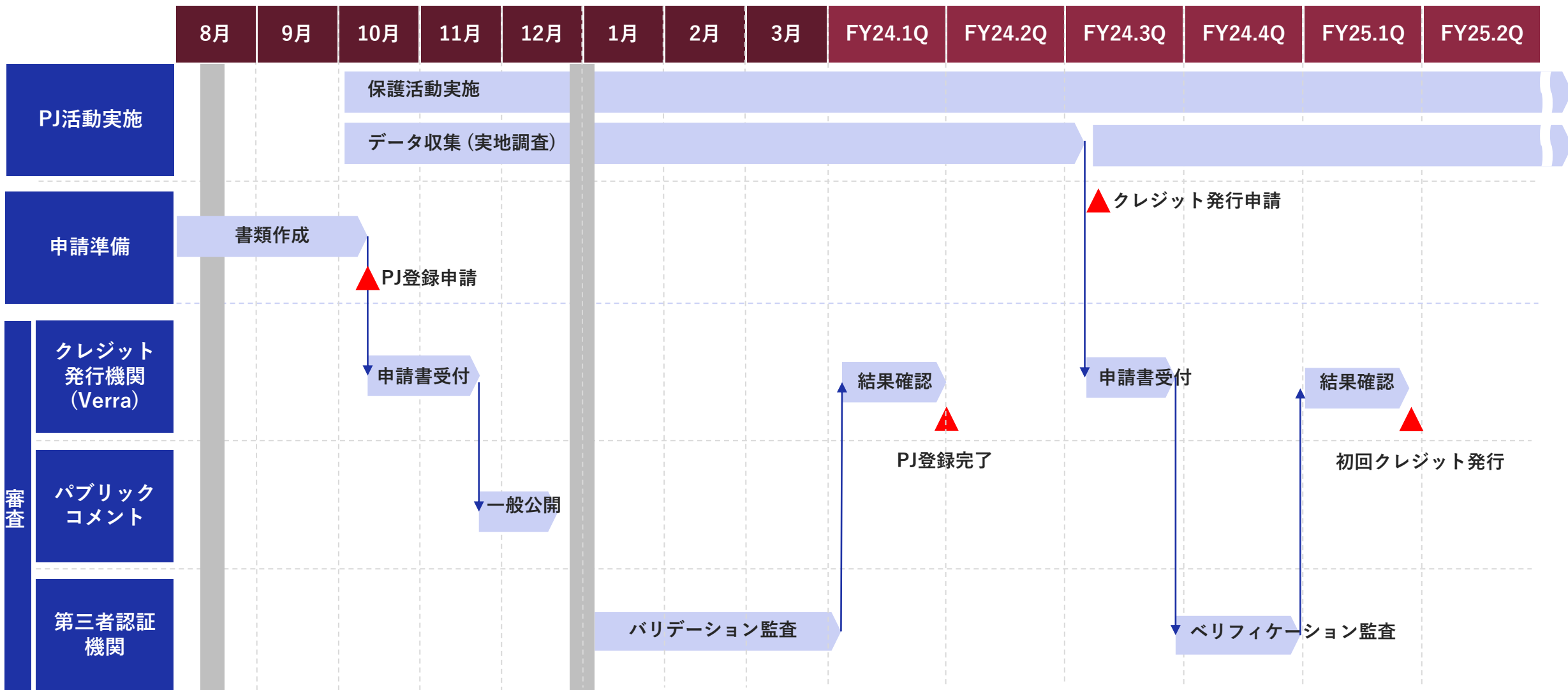
木材サプライチェーンへの影響

- 対象森林(約2.5ha x 20年分)の主伐分木材出荷量の減少があります

地域認知度向上への貢献

- 世界的にも注目度の高い森林カーボンのクレジットの申請事例として、南三陸森林の認知度向上に貢献できるものと思います

おおまかな予定スケジュール



※プロジェクトスケジュールには不確実性が含まれるため変動する可能性があります

お問い合わせ先

◆ お電話

株式会社佐久

TEL 0226-46-2037

◆ メール

カーボンクレジット創出トリアルプロジェクト事務局

info@carboncredit.nec.com

◆ ウェブページ

カーボンクレジット創出トリアルプロジェクトの状況については、株式会社佐久のホームページにて適宜情報公開して参ります

<https://m-sakyu.jp/>

\Orchestrating a brighter world

NEC